

まちづくりの基本構想 白岡はどうなるの？

市民に寄り添うまちづくり

市民の満足度の向上を図り、日々の暮らしに幸せを実感できるまちにするため、市民に寄り添ったまちづくりを進めます。

チャレンジするまちづくり

市の強みを活用し、弱みや課題を克服していくために、市民と行政が様々なことにチャレンジしながらまちづくりを進めます。

持続可能なまちづくり

社会環境の変化が著しい中、時代の変化に柔軟に対応した持続可能なまちづくりを進めます。

まちの将来像

みんなでつくる 自然と利便性の調和したまち しらおか



「白岡市の基本構想を策定すること」は、第6次白岡市総合振興計画の「まちの将来像」や、「基本目標（分野別のまちの姿）」「将来フレーム」などを定めて4年度から13年度までの10年間におけるまちづくりを進める上での基本方針を示すものです。

本構想は、昨年度から策定が始まり様々な市民からご意見などを集めて完成しました。今回初めて取り入れられた主なものは以下の通りです。

- リモートでの市民フォーラム
- 市内820事業者の在勤者や小中学生883名対象のネット調査など

また、これまでに市総合振興計画審議会で計6回延500分を超える会議や議会との900分を超える意見交換等を経ました。今回、基本構想は議会で可決され、今後、基本計画が策定されていきます。

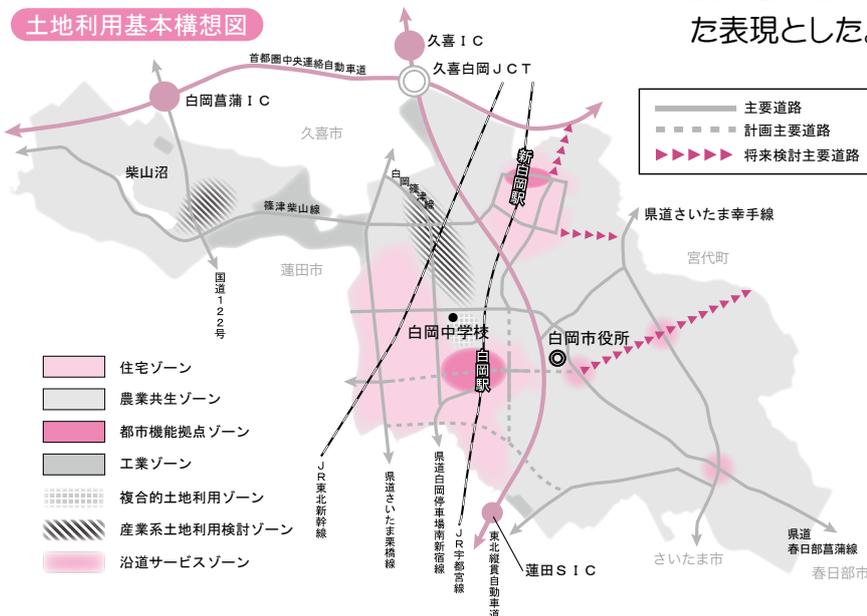
問 人口フレームの補足説明は、市民目線で考えると表現が難しいと感じるが、他の表現方法はないか。

答 分かりやすい説明が難しい部分であるが、省略すると説明が不足してしまうと考えている。

問 土地利用基本構想の都市機能拠点ゾーンで生活利便性の向上に資する施設とあるが、具体的な表現で記載することはできないか。

答 具体的な用途を記載していないが、生活に資する店舗などを想定しており、商業・業務施設など人を呼び込むような施設との違いを示した表現とした。

土地利用基本構想図



第6次総合振興計画基本構想

詳細は、上記QRコードから簡単アクセス